施策評価シート（令和７年度実績）

施策名　６　市民の自主的な文化活動を支援する

施策コード	010006

１．施策の体系と担当課

第5次総合計画	将来像	1 心豊かな人が育ち ふるさとに誇りと愛着を感じるまち
主管課	教育部　社会教育課	
関係課	総合政策部　政策推進課	

２．施策の目標

10年後の目標

文化活動に対する多様な活動の場や発表の機会があり、文化に親しむ環境が整っています。これにより文化・芸術に対し意識の高い市民が増え、自主的な文化活動が活発に行われています。
市民が質の高い多様な芸術・文化にふれる機会があり、文化が生活にうるおいと安らぎを与えています。

10年後の目標に向かっての主な取組み

市の取組み

〇市民の文化活動の場や文化芸術にふれる機会を増やし、文化活動を支援・促進します。
〇市内文化団体の自立と活性化を促し、市民の手による文化イベントの開催や団体相互のネットワーク化を図るなど、市民主体の文化活動を展開します。
〇市民自らが文化の大切さについて考えるきっかけとなる講座を開催するなど、情報提供を行います。
〇本市にゆかりのある芸術家を発掘し、その活動を市民に周知することにより、市民に質の高い芸術を提供し、市への愛着を深めます。
〇コスモスシアターをより一層活用し、国内外の文化にふれる機会や、身近に文化を感じる機会を提供します。

市民・団体・事業所等の取組み

〇文化イベントへの積極的な参加により、地域の文化意識を高めます。
〇専門家の指導を受けた個人・団体が、より専門性の高い文化活動を展開します。
〇地域の人材や資源を生かし、市民自らが文化の創造、発信に取り組みます。
〇文化団体は後継者の発掘・育成に努め、異なる分野の団体との交流を図り、活動の活性化を図ります。

３．施策を取り巻く状況

社会環境や法令等の変化

文化活動団体やグループの構成員は高齢化・固定化しており、後継者育成が課題となっている。
物価高の影響でコスモスシアターの管理・運営に係る人件費や光熱水費が高騰し、指定管理者の経営を圧迫している。（政策推進課）

新たな市民ニーズ

多様な文化活動への支援が求められている。
教育活動の一環として、小中学生に良質な文化に触れる機会を提供する。

４．施策にかかるコスト

			単位	R6予算	R6決算	R7予算	R7決算	R8予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		1.57		1.11	
		会計年度任用職員数			0.0		0.0	
	人件費	直接人件費	千円		10,104		8,371	
		間接人件費			2,556		2,066	
	直接事業費			231,346	230,194	236,038	240,161	312,885
	間接事業費				4,354		2,603	
	フルコスト				247,208		253,201	
財源内訳	使用料及び手数料		千円					
	国庫支出金							
	府支出金							
	市債			25,500	30,400	29,800	29,900	104,100
	その他			35,000	640		1,759	
	一般財源１（＝フルコスト－特定財源）				216,168		221,542	
	一般財源２（＝直接事業費－特定財源）			170,846	199,154	206,238	208,502	208,785

備考

５．施策の成果指標							
成果指標1		コスモスシアターホール利用者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
人	毎年度	150,000	増加	169,998.7	109,989	115,000	120,000
成果指標2		市民文化祭・文化の日のつどい入場者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
人	毎年度	3,000	増加	2,246	2,528	3,000	3,000
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

６．施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和7年度実績）									
事務事業名	最重要指標	事業費 人件費				方向性		所　見
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(見込)			
文化振興事務 （政策）	自主・受託事業実施数 R7実績 30 回 最終目標値に対する達成率 100.0%	200,911 5,126	228,318 4,656	238,362 5,051	310,526 0	成果 資源配分	Ａ：向上を図る Ｂ：現状維持	指定管理者の創意工夫により、今後も市民が多様な芸術・文化に触れる機会を提供する。
文化祭運営・文化活動活性化事業 （社教）	市民文化祭・文化の日のつどい入場者数 R7実績 2,528 人 最終目標値に対する達成率 84.2%	2,088 11,755	1,876 8,004	1,799 5,386	2,359 0	成果 資源配分	Ａ：向上を図る Ｂ：現状維持	市民の主体的な文化活動を活性化させるため、資源を維持しつつ、ニーズにあった工夫を行うなど成果を向上させる。

７．施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	自主・受託事業実施数において目標達成したほか、前庭やロビーを活用してマルシェを開催し賑わいを創出した一方、ホール利用者数は減少し単年度目標が未達成などの課題がある。 市民文化祭・文化の日のつどいの入場者は微増しているものの、目標達成には至らなかった。
構成事務事業に課題はないか	文化振興事務においては、近年、指定管理者に対し人件費の追加負担や光熱水費補助を実施しているものの、あくまでも基本委託契約の範囲で指定管理業務を遂行していただくことが基本スタンスであり、その中で成果を向上させる工夫が求められる。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	令和８年度末で貝塚市民文化会館の指定管理期間が終了することから、今年度中に公募を実施する。公募においては、創意工夫によるホール利用者の増加、効率的な管理によるコスト削減、地域性に配慮した貸館運用などを評価する審査基準を設けるなど実施要領の作成を工夫し、令和９年度から５年間の指定管理を委託するに相応しい事業者を選定する必要がある。

８．今後の方向性	
担当部長の所見	文化の日のつどいは教育功労者表彰や講演会などを市主体で実施し、市民文化祭は発表・展示とも市民主体で実施しており、公民連携による事業となっている。また、市民文化祭は大勢の人に来場していただくことで、文化活動のモチベーションが高まることから、つどいの内容や発表・展示を工夫して来場者増加に努める。
担当副市長の意見	文化活動に対する多様な活動の場や発表の機会を確保するとともに、年齢に関係なく、市民が質の高い多様な芸術・文化にふれていただくことで、自主的な文化活動が活発に行われるよう、ニーズにあった取組みを推進する。